

《担当者名》花淵馨也 [hanab@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

松嶋健『プシコ ナウティカ：イタリア精神医療の人類学』を輪読する。
 イタリアにおける精神病院廃絶は、どのようにして可能となったのか？
 精神医療から精神保健への移行により、なにが変わったのか？ 精神病者が地域で生きる生活の実態とは？
 この本の詳読を通じて、地域医療や地域福祉の前提となる「地域」という人間の集合的生き方について考察する。

【学修目標】

- ・病いや障がいや社会や文化の文脈において理解するための医療人類学的視点と方法について理解する。
- ・医療や福祉を「人間の生き方」という根本的問題として捉えるための広い視野を養う
- ・海外との比較により現代日本の医療や福祉のあり方について批判的に分析し、考察する能力を身につける。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|-------------|-----------|---|-----|
| 1 | オリエンテーション | 授業の目的と内容についてのガイダンス | 花淵 |
| 2) 3 | 精神医療の廃絶 | 各章を講読し、ディスカッションを行う 序章：精神医療をめぐる「生」の人類学 1章：イタリアにおける精神医療の展開 2章：パザーリアの思想とその実践 | 花淵 |
| 4) 5 | 病院から地域へ | 各章を講読し、ディスカッションを行う 3章：病院から出て地域で働く 4章：主体性を返還する | 花淵 |
| 6) 7 | 生き方の変革 | 各章を講読し、ディスカッションを行う 5章：一人で一緒に生きる 6章： 演劇実験室 と中動態 | 花淵 |
| 8 | 地域という生の場 | 各章を講読し、ディスカッションを行う 全体の内容についてまとめ、総評を行う 7章：歓待の場としての「わたし」と「地域」 終章：生きているものたちのための場所 | 花淵 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業における発言（100％）

【教科書】

松嶋健『プシコ ナウティカ：イタリア精神医療の人類学』世界思想社

【参考書】

なし

【学修の準備】

担当する部分を読み、レジュメにまとめ、自分の意見を用意してくること（100分）。